

新年度を迎えて

地域包括支援センターかこがわ

センター長 瀧 淑郎



地域包括支援センターかこがわは、加古川市の委託を受け平成21年4月1日開設以来、加古川町の皆様にお世話になっております。

団塊の世代が75歳以上となり医療・介護等の需要の急増が予想される2025年（平成37年）を目前に、医療や介護が必要な状態になっても、出来るだけ住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みが進められています。

今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支える為にも、「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。そうした中、現在の事務所が手狭となり、又、加古川市よりスタッフの増員の依頼もあり、2月23日より事務所を移転しています。

新しい事務所は、国道二号線の東行き一方通行に面し、三井住友銀行加古川支店近くに位置し、3階建の3階に入っています。

国が打ち立てる「地域包括ケアシステム」においても地域包括支援センターは、その中軸として求められる内容も多岐にわたり、重要性も益々増えています。地域住民のニーズを吸収しながら地元の皆様の連携を深め、業務を遂行していきたいと思っております。

今後ともご理解・ご協力を賜り、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

事例検討会

平成26年12月17日に総合福祉会館で事例検討会を行いました。主に新人のケアマネジャーや事業所内一人で奮闘されているケアマネジャーの方々9名参加して下さいました。目的として、ケアマネジャーのネットワーク作りや事例の見立てを養う事とし、活発な意見交換ができたのではないかと思います。これからも定期的に事例検討会を開催することで、ケアマネジャーの交流の場を持ち、業務の振り返りをすることで今後活かしていきたいと思っております。



元気でいこう会 講演会



1月20日、「元気でいこう会」の団体様よりご依頼を受けまして「なるほど納得！血圧の最新情報」と題し、血圧についての講話をさせて頂きました。

元気でいこう会のメンバーは主に市健康課で実施されていた二次予防事業対象者のはつらつ教室を卒業された方々で構成された有志の団体で、健康に関してのモチベーションも高く、「低血圧で気にしないといけない事は何ですか？」「平均血圧から何がわかりますか？」など積極的な姿勢を見せて下さいました。企画・運営など自立された活動に感銘を受けたと同時に、地域包括としても「元気でいこう会」様のような舞台づくりを行っていく必要性を感じた一日でした。



多職種連携研修会

3月17日に総合福祉会館で、『介護職が知っておくべき医療の学習会』と題して腎臓病と透析について、きたうらクリニックの北浦先生をお招きし、多職種連携研修会を開催しました。

今回、様々な業種の方との話し合いで、自身の振り返りや立ち位置について振り返りが出来る良い機会になっているのかなと感じています。

これからも多職種の連携が図れるよう研修会を開催する予定ですので、宜しくお願いします。
ご多忙中時間を調整しご参加いただいた42名の皆様、ありがとうございました。



認知症サポーター養成講座活動 かがわグループの活動

その1 1月13日、22日の二日間、「兵庫県立加古川南高校」の総合学習で福祉の勉強を選択されている生徒を対象に、コンビニに買い物に来て戸惑う認知症の方へのよい対応について、グループワーク・寸劇を披露していただきました。素直な視点で優しく声掛けをされており、将来福祉を担っていく学生さんの姿が大変頼もしく思いました。



その2 2月10日、「加古川寿大学OB会」の方、約150名対象に開催しましたが、非常に受講意欲が高く、開催側としても思わず熱が入りました。グループ討論もお手の物で、友人にも今日の話伝え、サポーターの輪を広げたい！と力強い感想を多くいただきました。



その3 2月25日、「りそな銀行」の方を対象に、窓口対応についての事例を協議し、認知症の講話を行いました。金銭を扱う企業として独居の方への対応が難しいとの課題を皮切りに熱心にグループワークをされていました。

その4 3月11日、「生活協同組合 コープこうべ」から依頼があり、15名の方が受講されました。日頃、スーパーマーケットで勤務されており認知症の方と接する機会も増えて来ているとの事で、実際に対応された事例を皆で再検討しました。



※ 今年度は地域の方のほか、企業や学校関係の機関からも依頼を受け、幅広い活動ができたのかなと思っております。次年度もどうぞ宜しくお願いします

認知症の人や家族にやさしいまち かがわ



3月7日、総合福祉会館にて「認知症の人や家族にやさしいまち かがわ2015」と題して、講演会と認知症なんでも相談会が同時開催されました。講演会では介護福祉士の和田行男氏を講師に招き、「知ってよかった認知症のこと 知っておきたい認知症のこと」とのタイトルで、パワフルな口調のお話で会場全体がとても楽しく和やかな雰囲気でした。また医療職や法律職、福祉職が複数で対応する相談会では、「これまで相談出来る人がいなかった。今日は、色々な専門家に話を聞いて貰えて、勇気が持てた」などの声がありました。これからも、

認知症の人や家族が住みやすい地域になるように皆さまのご協力を得て、取り組みをすすめていきます。